

## ウクライナでのポリオ患者の発生(続報)

令和3年11月8日

### 【ポイント】

- ザカルパチア州でポリオによる麻痺を発症した子供が1名見つかりました。
- ポリオは、経口感染します。食品衛生、食事の前の手洗いを励行してください。
- ポリオワクチンの接種が完了していれば、過度に心配することはありません。

### 【本文】

1 ウクライナ保健省は、11月3日に、ザカルパチア州で、ワクチン由来ポリオウイルス1型による急性弛緩性麻痺の12歳児が見つかったことを発表しました。このケースは9月にリーウネ州で見つかったポリオ患者(伝搬型ワクチン由来ポリオウイルス2型)とは関係がない由です。この児童は、ワクチン接種を受けていませんでした。

2 ポリオは、感染すると、まれに手や足などの麻痺を来し、中には障害が一生残るケースがあるウイルス病です。ポリオウイルスで汚染された水・飲食物などがヒトの口に入り、腸の中で増殖して全身に感染します。上下水道が整備されていないなど衛生状態が悪い場合に、下水に流入したウイルスが他のヒトの口に入り、感染が循環・拡大します。

3 今回の原因となったポリオウイルスは、経口生ポリオワクチン(OPV)に含まれる弱毒型ウイルス(セービン株)が、環境の中で長期間循環し、麻痺を引き起こす能力を再獲得したもので、伝搬型ワクチン由来ポリオウイルスと呼ばれています。ウクライナのワクチン接種率が低いことが背景にあります。

4 ポリオは、ワクチンで予防することが出来ます。現在、日本では4種混合ワクチン(子供の定期予防接種で生後3か月、4か月、5か月、1歳に接種)にポリオワクチンが含まれています。日本で生まれ育った方であれば、幼少時に複数回の接種を受けており、ウクライナ滞在に問題は無いと考えられます。しかし、1975年(昭和50年)から1977年(昭和52年)の生まれで、日本で経口生ワクチンだけを受けた方は、ポリオに対する免疫が不十分だとして、不活化ワクチン(IPV)の接種を受けておくことが推奨されています。念のため、ご自身の接種記録を確認することをお勧めします。

### (参考)

厚生労働省「ポリオとポリオワクチンの基礎知識」: <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/polio/qa.html>

### 【問い合わせ先】

在ウクライナ日本国大使館領事部

住所: 4, Muzeiny Lane, Kyiv, 01901, Ukraine

連絡先: +380-44-490-5500

在ウクライナ日本国大使館 HP: [https://www.ua.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.ua.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)